

開講期	2025年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	7335 労働と経済			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	1年/2年/3年/4年	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	木曜5限				
教室	D203教室				
代表教員	堀川 祐里				
担当教員	堀川 祐里				
テーマと到達目標	特に大学生になったばかりのみなさんにおすすめする、日本の労働環境について学ぶ授業です。 今みなさんがやっているアルバイトや、これから社会人として就く仕事のあり方について自分の意見が持てるようになることが目標です。				
概要	本科目では日本の労働環境に存在する不協和音を読み解いていきます。 授業は、課題図書を各自予習として読んできたうえでグループでディスカッションをするパートと、教員が解説をするパートの2部構成で進めます。 他の科目では「社会政策」「社会福祉」は最も関連が強い科目となり、2年生以降でその両方を履修することにより、労働を含めてみなさんが生きていく社会全体の理解が深まります。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	オリエンテーション：授業計画、成績評価、注意事項等に関する説明。				対面授業
第2回	「社会政策とはなにか」という問いの難しさ				対面授業
第3回	社会政策の概観をつかむ				対面授業
第4回	バリキャリ女子の欠点？				対面授業
第5回	ジェンダー平等は健康の権利を放棄しなければ得られないか				対面授業
第6回	労働災害から身体を守る				対面授業
第7回	「産業廃兵」の誕生				対面授業
第8回	移住によって観光業へ参入する女性の労働と世代間の再生産				対面授業
第9回	なぜ日本の「ケア労働」は低賃金なのか				対面授業
第10回	社会福祉の現場において“ふたつの生活”を守る				対面授業
第11回	グローバル東京をクィアする				対面授業
第12回	「労働環境の不協和音」を生きるには				対面授業
第13回	期末レポートについての説明				対面授業
第14回	労働力の再生産が順調に可能になる社会に向けて				対面授業
第15回	社会政策に求められることは何か				対面授業
成績評価の基準	2種類の評価方法の総合評価であり、その内訳は、授業内におこなうディスカッションやリアクションペーパー50%、期末レポート50%です。 ※毎週、課題図書を予習してきたうえでディスカッションを行います。 ※リアクションペーパーについて、通信状況のエラー等で答えられないというトラブルについては対応しません。 ※欠席時数が全授業時数の3分の1を超えたものは期末レポート提出の資格を失います。				
履修にあたっての留意事項	授業に関しての詳細や注意事項は初回の授業で説明するため、この講義の受講の意思がある場合、また受講するか否かを検討している場合には、第1回目の授業に出席してください。 皆勤が原則であるため出席自体は評価の対象とはなりませんが、受講生は毎週課題図書を予習しディスカッションをおこないますので、履修する場合は責任をもって予習して臨んでください。 なお、各回の授業内容は受講生の理解を促進するために、順序を入れ替えることがあります。 最後に、授業中、他の受講生の迷惑になる行動については慎んでください。特に私語は厳禁とし、私語を行っている受講生には教員が退室を促すことがあります。				
オンライン授業方式(同時双方向)	オンラインで授業（同時双方向型ないしオンデマンド型）を行う可能性もあります。 初回授業で、それぞれの授業回の確定した授業方式を伝えるため、この講義の受講の意思がある場合、また受講するか否かを検討している場合には第1回目の授業に出席してください。				

型・オンデマンド型)の詳細	
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件	

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書	堀川祐里（2024）『労働環境の不協和音を生きる 労働と生活のジェンダー分析』晃洋書房。	教科書(ISBN)	ISBN-10 ： 477103883X ISBN-13 ： 978-4771038837
参考文献	授業内で適宜紹介します。	参考文献(ISBN)	なし。